



## システムノート

本マニュアルは、PC-9801シリーズのシステムノートです。  
このマニュアルには対応機種、ハードの設定、拡張などについて書かれています。  
ゲームが立ち上がらないときにはご覧下さい。

### 1. 確認事項

#### ■製品構成

本製品は次のようなもので構成されています。パッケージの中身をお確かめください。

- |          |     |             |     |
|----------|-----|-------------|-----|
| ・DISK    | 4 枚 | ・プレイングマニュアル | 1 冊 |
| ・システムノート | 1 枚 | ・アンケートハガキ   | 1 枚 |

### 2. セットアップ

#### ■動作環境

PC-9801版「SUZAKU」は以下の環境で動作保証します。

##### 【コンピュータ本体】

※対応機種については、「対応機種一覧表」をご覧ください。

##### 【アナログディスプレイ】

※対応ディスプレイについては、「非対応ディスプレイについて」を参照してください。

##### 【その他のハードウェア環境】

※ハードウェア環境については、「その他のハードウェア環境について」を参照してください。

### 3. 起動方法

#### ■次の順序でゲームを起動させてください。

- 【操作 1】 セットアップに表記されている環境を用意します。電源が ON になっている状態でドライブ 1 に DISK A を、ドライブ 2 に DISK B を入れて下さい。
- 【操作 2】 リセットスイッチを押してください。プログラムが読み込まれ、オープニングデモが始まります。
- 【操作 3】 ゲームを始めたい場合はマウスボタンをクリックするか、何かのキーを押してください。画面のメッセージに従ってドライブ 1 のディスクを入れ替えて下さい。
- 【操作 4】 画面のメッセージに従って初期設定を行なって下さい。



## 4. 対応機種一覧表 ～拡張無しで動作保証するもの～

※ VM2/4 UV2/4については、「VM2/4 UV2/4の設定」を参照してください。

| ■ NEC PC-9801     | ■ EPSON PC-286/386 |
|-------------------|--------------------|
| UV 11/21          | PC- 286            |
| UX 21             | 286C               |
| CV 21             | 286X               |
| ES 2/4            | 286U               |
| EX 2/5            | 286V               |
| UF *              | 286VE              |
| VM 11/21/41       | 286VF              |
| VX 2/21/41        | 286VG              |
| RA 2/5/21/51      | 286VJ              |
| RS 21/41          | 286VS              |
| RX 2/4/21/51      | 286VX              |
| Do                | 286US              |
| Do+               | 286UX              |
| DX 2/U2/5/U5      | PC- 386            |
| DS 2/U2/5/U5      | 386V               |
| DS 2/U2/5/U5      | 386S               |
| DA 2/U2/5/U5/7/U7 | 386M               |
| CS 2/5/5/W        | 386VR              |
| FA                | 386GE              |

※ UF は一部の機種自体に動作が不安定なものがあります。

## 5. 非対応ディスプレイについて

■本製品「SUZAKU」はアナログディスプレイ専用版です。デジタルディスプレイには対応していません。

お手持ちのディスプレイがアナログかデジタルかを判断するには NEC 製のディスプレイであれば、型番が PC-KD8\* \* とつながればアナログ、PC-KD5\* \* とつながればデジタルディスプレイと判断します。

※他社のものでも使用できますが、アナログかデジタルかをメーカー、または店頭でお確かめ下さい。

## 6. その他のハードウェア環境

■「SUZAKU」は以下のハードウェアに対応しています。ただし、これらはゲームの進行をより快適に楽しむ為のもので、必ずしも用意する必要はありません。

- ① 拡張 RAM ボード
- ② EMS 方式の RAM ボード
- ③ FM 音源ボード
- ④ MIDI ボード

### ① 拡張 RAM ボードについて

2M以上のRAMボードに対応しています。拡張RAMボードを使用すると、ディスクアクセスの回数が減り、快適にゲームが進行できます。ボードの増設についてはハード本体附属の各マニュアルを参照して下さい。

### ② EMS方式のRAMボードについて

EMS方式のRAMボードはメルコ、IOデータ機器の2社のものに対応しています。それ以上のハードに関しては、動作保証いたしかねます。

また、プロテクトメモリ方式には対応していません。



## ■拡張 RAM ボードについての詳細事項

1 対応していないもの……………PC-9801 DA  
PC-9801 DS  
PC-9801 RA  
など、内蔵 RAM ボードをプロテクトメモリとして使用するものには対応していません。

2 条件により対応しないもの……また、通常の RAM ボードでも、EMS のみの使用設定になっている場合は対応できません。  
このときの対処の方法は、ご使用の RAM ボードのマニュアルをご覧ください。ご使用の機種にある RAM の設定の内【EMS と IO-BANK】のモードを選んで下さい。  
また、この症状は PC-9801 シリーズおよびその互換機において発生します。

3 その他の注意事項……………RAM ディスクの使用時には次のことにご留意ください。

### ■ディップスイッチ

①の状況で RAM として認識されていない時は、メモリ不足により起動しなくなりますので、ディップスイッチの 3-6 を OFF にして下さい。

### ■対応 RAM ボード

IO データ機器製とメルコ社製 2 点。ただし、内蔵タイプのものは使用できません。

### ■RAM の設定

EMS だけに全てのメモリを割り振ると使用できません。必ず、IO バンクモードを設定の中に含んでご使用下さい。

※PC-286C をご使用の方で EMS メモリを使用する場合はソフトディップスイッチの SW3-5 を ON にしてサウンド ROM を切り離して下さい。

## ③ FM 音源について

FM 音源を標準実装していない機種は、音源拡張ボード (FM 3 音+PSG) を装備することによって音楽を楽しむことができます。

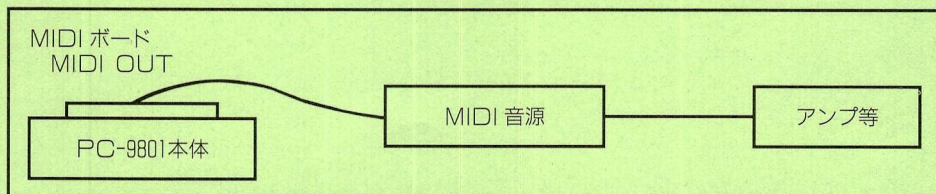
## ④ MIDI ボードについて

本製品は以下の MIDI 音源に対応しています。

|                |       |      |
|----------------|-------|------|
| ローランド社 MIDI 音源 |       |      |
| MT-32          | CM32L | CM64 |

MIDI 接続に必要なもの

1. PC-9801 用の MIDI ボード
2. 対応している MIDI 音源
3. MIDI ケーブル
4. 音声再生装置 (アンプ、ヘッドホン)



※MIDI ケーブルが 5 m 以上ある場合、信号が正常につながらない場合があります。また MIDI から出力される音が止まらなくなった場合、いったん電源を切ってしばらくおいてから起動し直して下さい。なお、MIDI について詳しく知りたい方は市販の専門書などをお読み下さい。



## 7. ディップスイッチの設定

①コンピュータの動作環境を設定するスイッチが、本体下部にあります。本製品にあわせた設定を行なって下さい。

※ディップスイッチは下にさがっている状態が ON です。また、SW 番号は左から 1、2、3 と番号がついています。

②ディップスイッチー覧～PC-9801 VM21以降

| ■ SW 1 | ■ SW 2 | ■ SW 3 |
|--------|--------|--------|
| 1 ON   | 1 OFF  | 1 OFF  |
| 2 OFF  | 2 OFF  | 2 OFF  |
| 3 OFF  | 3 ON   | 3 OFF  |
| 4 OFF  | 4 ON   | 4 OFF  |
| 5 OFF  | 5 OFF  | 5 OFF  |
| 6 OFF  | 6 OFF  | 6 OFF  |
| 7 OFF  | 7 OFF  | 7 OFF  |
| 8 ON   | 8 OFF  | 8 ON   |

PC-286、386シリーズ  
 ・SW3-7を ON  
 ・SW3-8を OFF  
 他の設定は VM21以降と同じ

PC-9801VM11、UV11、Do、Do+  
 ・SW2-8を OFF  
 他の設定は VM21以降と同じ

③クロック数について

PC-9801Do、Do+、VM11、UV11、UF は、オープニングを見る場合はクロック数を 8 に合わせて下さい。

## 8. VM2/4 UV2/4

| ■必要な拡張内容 | ・RAM を640K バイト以上に拡張<br>・16色ボードの拡張 (VM2/4のみ) |
|----------|---------------------------------------------|
|----------|---------------------------------------------|

①メモリ拡張について

PC-9801 VM2/4、UV2/4は RAM が384K バイトの機種です。これらの機種は RAM の拡張が必要となります。RAM ボード拡張の方法についてはハード本体附属の各マニュアルを参照して下さい。

②16色ボードについて

PC-9801 VM2/4は16色アナログ表示能力を標準実装していません。これらの機種は16色アナログボードの拡張が必要です。

拡張がされていない場合は、画面の色がおかしくなってしまいます。ボードの拡張方法についてはハード本体附属の各マニュアルを参照して下さい。

③ディップスイッチの説明

コンピュータの動作環境を設定するスイッチが、本体下部にあります。本製品の動作環境に合わせた設定を行なって下さい。

| ■ PC-9801 VM/UV2                           | 拡張 RAM 使用時                   |
|--------------------------------------------|------------------------------|
| SW2の5を ON<br>SW3の8を OFF<br>他の設定は VM21以降と同じ | SW3の6を ON<br>他の設定は VM21以降と同じ |